

「学びの变革」指導展開例

小学部 目指す子供の姿 「夢中になって取り組む子ども」

<基本情報>

- ◇教育課程 音楽科
- ◇学年 小学部 第4学年(6名)
- ◇单元名 「秋の歌とリズム」
- ◇本時の目標
 - 秋の歌や曲の表現を通して、楽しみながら教師や友達と活動することができる。(音2(2))
 - 操作の簡単な楽器で遊ぶことができる。(音2(3))
 - 手遊び・リズム遊びで、身体を意識して動かすことができる。(音2(2))
- ◇児童の実態 知的障害と自閉症を併せ有する児童6名。集中できる活動時間は、短時間。

<学習過程(抜粋)>

学習活動	指導上の留意点		
	A	D	全体
1 あいさつ 6 楽器で遊ぶ ・みんなでみっつ	曲に合わせて「1, 2, 3」と自分で数えながら、タンバリンを叩くことができる。	「ぶんぶんぶん」のなじみのあるリズムであり、4拍子系の曲では児童が打ちやすいリズムである。曲の歌詞「大きくみっつ」「小さくみっつ」のフレーズで、演奏の大きさの違いについて、児童が工夫して表現できるようにする。	
7 リズムに合わせて ・エビカニクス	興味・関心、達成度を考慮した曲を視聴しながら、動きを模倣したり、主体的に体を動かしたりすることで、自分のリズムに乗って楽しさを味わえるようにする。	DVDを見ながら、掛け声をかけたり、手本の動きを模倣して踊ったりすることができる。	○児童が手袋の準備・返却をすることで、活動のはじめと終わりを意識させる。
8 季節の歌 ・不思議なポケット	歌に合わせてポケットを叩いたりタイミングよく1枚ずつビスケットカードをポケットから取り出したりする。	歌詞に合わせて、カードを取り出し動作化することで、歌詞の意味を分かりやすくする。歌詞の中に数とカードの具体物を対応させ数の理解につなげたり、楽器遊びの「3つ」の数に結び付けたりする。	
9 振り返り			

ICEモデル(单元間)

- 【考え・基礎知識】: 遊びの指導「劇遊び」、文字、数と計算
- 【つながり】: 生活単元学習「ありがとうの気持ちをこめて」
- 【応用・ひろがり】: 生活単元学習「文化祭で発表しよう」